

「魚の美味しいまちづくり」をテーマに5つの商店街が連携したイベントを開催

能都町商工会

機関名	能都町商工会		
所在地	石川県鳳珠郡能登町宇出津ト字44-4		
電話番号	0768-62-0181		
地域概要	(1)管内人口 23千人	(2)管内商店街数 5商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 5商店街	(2)会員数 160商店	
	(3)空店舗率 1.8%	(4)大型店空き店舗数 1店舗	
	能都町商業振興協同組合ほか4商店街		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 マネジメント対策事業
 総事業費 3,420千円

- ・商店街マネージャーによるマネジメント
- ・「能都町の食文化を楽しむ会」の開催 等

【事業実施内容】

1. 背景

能登町は、平成17年3月1日、能都町・柳田村・内浦町が合併して誕生した。能登町は、能登半島の北東部に位置し、北は珠洲市と輪島市、南西は穴水町に隣接し、東と南は富山湾に面して海岸線が続き、海岸線の大半は能登半島国定公園に含まれている。

日本海側特有の四季が明瞭で、年平均気温は13℃前後で、年降水量は1,700mm前後と、北陸地方としては比較的住みよい風土である。

東側の海岸線は屈曲に富んで、天然の良港を形成し、海、山、川の豊かな自然環境に恵まれており、また、市街地や集落は、海岸部や山間部の川沿いを中心に形成されている。また、平成15年7月には「能登空港」が開港し、一部供用が開始された「能越自動車道」は、都市圏との高速交通体系を確立するとともに、地域活性化を図る重要なプロジェクトとして期待されている。



能登町の位置（能登町役場HPより）

平成 11 年、旧能都町において作成された「能都町中心市街地活性化基本計画」に沿って、商店街活性化のための事業を進めていった。中心商店街を一つの商業集積として捉え、地域ニーズに沿った各種ハード・ソフト事業を企画運営し、集客の向上につなげるため様々な事業を行った。そして、平成 13 年には旧能都町の 5 つの商店街で作る能都町中心市街地活性化協議会が石川県の「活性化モデル商店街」に認定されるまでになった。

これらの取り組みの一環として、平成 14 年 9 月より商店街マネージャーを採用し、中心市街地の活性化を図った。平成 14 年において、商店街マネージャーは、まんなか市等のイベント、おかみさん会の活動、商店街活動全般に係る指導を行った。

平成 15 年度は、商店街の空き店舗を活用した交流サロンの設置、そこでの情報提供のため「能登お店の物語」という商店街紹介冊子の作成、個店経営強化のための巡回相談・アドバイス等を行った。

平成 16 年度は、能都町地域の特長を明確化して内外にアピールするため、「魚の美味しいまちづくり」をテーマに各種イベント等を実施することとした。

2. 事業内容

(1) 食文化を楽しむ会

「魚の美味しいまちづくり」というテーマに基づき、地元漁師、料理人など能都町の食に関わる人をゲストに迎え、食に興味のある町内外の人々が集い、地元の食材を使った美味しい能登の食事を楽しみながら、能都町の食文化についてゲストと参加者とが語り合うイベントを開催した。

平成 16 年 11 月～平成 17 年 3 月にかけて、地元民宿、料理屋等で 10 回開催し、計 104 名の参加者があった。

開催日	食談義対象料理	参加者数	備考
H16. 11. 27	くじら料理	18 名	
H17. 1. 15	ぶり料理	15 名	参加対象者を変えて実施のため 2 ヶ所で開催。
H17. 1. 15	ぶり料理	13 名	
H17. 1. 24	ぶり料理	5 名	
H17. 1. 31	ぶり料理	8 名	
H17. 2. 4	たら料理	8 名	
H17. 2. 23	ヤリイカ料理	10 名	
H17. 2. 25	あんこう料理	7 名	
H17. 3. 15	旬の魚料理	10 名	
H17. 3. 25	くじら料理	10 名	

(2) まんなか市

毎月 15 日（月のまんなか）に 5 つの商店街が共同で開催するイベントである。主要なイベントは次のとおり開催した。

・寒ブリの解体と即売

町が行った「寒ブリまつり」に併せて実施し、新聞の事前報道などもあって、町内外から多くの人を呼び寄せることができた。

・おもてなし商品・サービス

参加各店舗が「おもてなし商品・サービス」を用意し、まんなか市の際にお客様に提供した。例えば、呉服店でスタンプ3倍サービス、美容室でお茶・コーヒーのサービス、生花店でカーネーション1本サービス、という具合で、その他の店舗も自店自慢の商品を割引サービスするなど行った。参加店舗は60店舗で、事前に「おもてなし商品・サービス」のチラシを作成して新聞折込により配布した。

なお、平成17年度は、クーポンサービスに変更して「おもてなし」を継続している。

・餅つき大会

・お花の配布 等

「まんなか市」のチラシ

(3) 商店街紹介冊子の作成（能登お店の物語）

平成15年度に引き続き、商店街の個店紹介のため「能登お店物語」に新たに5店舗を追加した。

(4) 個店アドバイス事業

平成15年度に引き続き、個店の経営強化に向けた巡回相談・アドバイス事業を実施した。

【 効 果 】

<食文化を楽しむ会>

1. 来街者の行動

地元関係者を通じて、口コミで生の情報発信をする基礎ができた。例えば、漁師しか知らない料理方法を口コミで広めることができた。

2. 商店街の認知度

中心商店街においても、「魚の美味しいまちづくり」を推進するための核となる店舗があることを、内外に再認識させることができた。

なお、平成17年度に入って、「魚の美味しいまちづくり」の一環として商店街の空き店舗に「さしみ屋」（さしみを気軽に食べられる昼食を中心とした飲食店）をオープンさせた。

<まんなか市>

1. 来街者の行動

各種イベントの開催によって、近隣から多くのお客様を集めることができた。

2. 近隣個店への波及

「おもてなし商品・サービス」の実施により、定番商品を確立しつつある商店、固定客を掴んできている商店がある。また、商店街の各個店において、お花でのもてなしが浸透しつつある。

3. 商店街の組織

各種イベントを継続的に企画・実施することによって、商店街の組織強化につながった。



空き店舗に開設した「さしみ屋」



店頭のお花のおもてなし

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・PR

各種事業について、チラシを作成し新聞折込で配布しているが、チラシを見ていないという方がまだいる。今後はホームページでのPRも実施していく。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

各事業の担当者を明確にして、責任もって活動する体制を整えることが肝要である。

【 関 連 U R L 】

能都町商工会 <http://www.noto-net.jp/>

能登町 <http://www.town.noto.ishikawa.jp/>